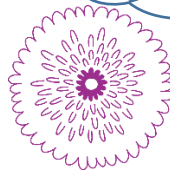


X(旧 Twitter)で
図書館の最新情報
をお届け!!



令和6年(2024年)2月 通刊 179号

電話 0467-87-1001 FAX 0467-85-8275 火曜日～金曜日は9時～19時 土日祝日は9時～17時

子どもたちが、読書することを

さらに好きになっていくように。

茅ヶ崎市の子どもたちが読書することがさらに好きになっていくように。そんな願いを込めて、「ちがさき・子ども読書フォーラム」を開催しました。

子どもも大人もニックネームで呼びあうことにし、簡単なゲームで緊張をほぐしたあとは、みんなを本のお話の世界へご案内します。茅ヶ崎市内の小学校で読書活動指導協力者をしている前田峰澄さん（ほずみん）の登場です。

「読書活動指導協力者」を知っていますか？学校の図書室や教室に来てくれて、みんなに本を読んでくれたり、おすすめの本を紹介してくれる先生のことです。

前田さんからは「送る、送る、なに送る？」をテーマにブックトークをしてもらいました。すると、紹介した本の中の1冊を朗読するため、コンクールで入賞経験のある中学生が駆けつけてくれました。始まったとたん引き込まれ、みんなでうっとりしてしまいました。

次に前に出てきてくれたのは、なんと！小学6年生の児童です。自分の通う学校図書室で行っている活動について発表してくれました。大勢に注目され、少し緊張気味ながらも、本が好きだという気持ちが伝わる素敵な発表でした。



最後は、参加者全員で「もっとみんなが読書を好きになるには？」をテーマにしたディスカッションです。この記事を読んでいるあなたも、ぜひ、ご家族やお友達と話し合ってみてください。

今回のフォーラムは、参加者全員が、自分の考えや意見を伝え合う機会と場になりました。また、保護者や学校関係者など、大人を巻き込んだことで、子ども同士だけでなく、大人と子どもが同じ目線で一緒に対話することができ、予想以上の成果となりました。

参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

会場の様子は、次のページをごらんください。



10/11 「ちがさき・子ども読書フォーラム」

ストーリーテリング・ブックトーク

市内の小学校で読書活動指導協力者をしているはずみんによるお話し時間。

「送る、送る、なに送る？」をテーマにしたブックトークです。ストーリーテリング「田の久」では、豊かな方言に引き込まれました。他にも、物語、数学の本、絵本などなど、魅力的な本が続きます。

最後に「放送」を意味する『ブロードキャスト』あらすじを紹介。そして…



参加者の声：語りかけが素晴らしかったです！（暗記されているのにもビックリ！）

朗読 湊かなえ著『ブロードキャスト』

読んでくれたのは、NHK杯全国中学校放送コンテストで入賞した第一中学校2年生の青山さん。

張りのある声と聞き取りやすい抑場で、しっかりと物語を紡いでくれました。

読んでもらったのはたったの2分間。でも、とてもキラキラした2分間となりました。



参加者の声：とても聞きやすかったです。普段の練習の成果でしょうか。

わたしの学校の読書活動

小和田小学校の図書委員として活躍する6年生が、学校図書館や委員会活動を紹介してくれました。

他の学校ではどんなことをしているんだろう？と、みんな興味津々で聞いてくれています。

発表の後、グループの中では色々な話で盛り上がりました。

「ポップ作りはうちの学校も委員会で作ったよ」（小学生）

「私の学校でも、児童がポップを作ったりしました」（教諭）

「今の小学校はこんなこともやっているのね。私が子どものころはなかったなあ」（保護者）



参加者の声：今日得た情報も、今後の図書委員の活動にいかせたらいいなと思っています。



みんなで話そう

最後は、図書館協議委員長の橋本和男さん（はっしい父さん）のお悩み相談にみんなで意見を出し合います。テーマは「みんながもっともっと本を好きになるためには、どうしたらよいらおう？」

子どもも大人も一緒になって話し合いました。

【出てきたアイデアの一部】

- ・給食の時間に本を読む、放送する
- ・漫画とか絵本とか簡単な本を苦手な友達にすすめる。
- ・本が好きな子にオススメされる本もいいけど、あんまり好きじゃない子に教えてもらうのもいいと思う。



参加者の声：他校の生徒の意見等を聞くことができ、良い経験が出来ました。

オマケ 図書館のウラガワたんけん

図書館本館は、地下2階、地上2階の4階建てです。立入禁止の地下書庫。いつもは秘密の世界にご案内しました。



参加してくれた人の感想

- ・新しい本が知れて面白かった。
- ・ウラガワとか好きな人との語り合いが楽しかった。
- ・一人ひとり丁寧に説明してくれたので安心して話せました。
- ・いろいろな学校の意見が聞けて、このフォーラムで学んだことを生かし僕の小学校でもこの意見を取り入れより良く読書の時間が楽しめるようにし、本が好きな人が増えるといいなと思います。
- ・次回期待しています。書庫すごかったです！！またご機会あればお願いします！

みなさまありがとうございました。

どうして読書が大切なの？

読書は、言葉を学んだり、ひょうげんする力を高めることができます。めまぐるしくかわる今の社会（よのなか）では、自分のよさや、まわりの人のよさを知って、たくさんの様々な人たちといっしょに生きていく力や人生を深く生きる力がひつようです。

子どもの読書は子どもの「のびよう」とする心をささえる力になります。きぼうを持ってみらいへ向かうために、読書でゆたかな心を育てることが大切なのです。そして、子どものころからよく読書をしていた人は大人になっても読書をつづけている人が多いのです。

おうちで読書を楽しむはじめのいっぽ

- 1 おうちで本を読もう
- 2 おうちで本のことを話そう
- 3 本がある場所に行こう

第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画【概要版】より



『第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画』

～読書のよろこびをすべての子どもたちにとどける～

子どもが（大人になってからも）読書を楽しめるちがさき市にするためには何をしたらいいか、を考えてつくった計画です。

みんなが読書でよりよく生きて、幸せな毎日をすごせるまちになってほしいというねがいが込められています。

だい じちが さきし こ どくしょかつどうすいしんけいかく
第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画 25のとりくみ
 たくさんの人と いっしょに 計画を 進めます



いろいろな場所で

23 よい本をたくさんおこう



24 ボランティアとおはなし会をひらこう



25 おうちの人や子どもたちが本を読みたくるようなイベントをひらこう






おうちで



- 1 おうちで本を読む
- 2 おうちで本のことを話そう
- 3 図書館（本がある場所）に行こう



ほいく園・ようち園で



- 4 よい本をたくさんおこう
- 5 本を読みたくるようになるようにしよう
- 6 先生が読書のことを学ぼう
- 7 本を知ってもらおう

**しりつとしょかん
市立図書館で**



- 14 えほんとふれあうたいけんをすべての赤ちゃんにとどけよう
- 15 おもしろい本、学習の役に立つ本をたくさんおこう
- 16 おはなし会やイベントをひらこう
- 17 子どもたちみんなが使いやすい図書館にしよう
- 18 ほいく園や学校に本をかそう
- 19 読書や本のことをみんなにしらせよう
- 20 学校といっしょにとりくもう
- 21 ボランティアをそだてよう、ふやそう
- 22 いろいろなしせつや人ととどけること



**がっこう がっこうとしょかん
学校・学校図書館で**




- 8 おもしろい本、学習の役に立つ本をたくさんおこう
- 9 子どもや先生が使いやすい学校図書館にしよう
- 10 子どもが本を読みたくるようなくふうをしよう
- 11 先生や学校図書館ではたらく人が図書館や読書のことを学ぼう
- 12 学校のじゅぎょうで図書館や読書のことを教えよう
- 13 ほかの学校や学校図書館、市立図書館といっしょに読書のことをとりくもう

【目ひょう】読書のよろこびを  すべての子どもたちに  とどけること